

きな種子、

例へば、南天、

四、お巾著の様に子供の腰のまはりにくつつく

種子、

例へば、藪シラミ、

五、地雷火の様にバチバチと飛んではねる種子

例へば、ホーセン花、カタバミ、

まだありますが、手近なこんな類を話しましたら、子どもはサア大喜び、ニコニコと聞いて居ました。が、それから後、風の吹く日は、「先生飛行器の種子が」と、太郎も採れば次郎も採つて風に吹かせて大騒ぎ。そこで、うまくいつたなと先生自身もニコニコ。

△毎朝のお話

麴町區富士見小学校
附 園 幼 稚 園

山下つや

毎朝全園児を一室に集めて、五分から十分位まで

のお話を、主任保母が致します。其の仕方は保母が、「みなさんはどの子どもになつたのでせうか」と問へば、大きい子どもは、富士見幼稚園の子ども」と答へる。それで、自分は富士見幼稚園の子どもだといふことを、幼児の頭へ入れておき度いと考へて居りますのですが、子どもは能くうけとつて呉れる様に思はれます。それから、「富士見幼稚園の子どもは、どういふ子どもになるのでせう」と聞くと、「立派な良い子どもになる」と答へます。そこで、立派な良い子どもといふことは如何なることかを云ひ聞かせます。立派な良い子どもといふのは、すなはな子、泣かない子、お顔や手をきれいに洗つておく子、お友だちと仲よく遊ぶ子、自分より小さいものを可愛がる子、まぢがつたことはしない子、なんでもほんとうのことを言ふ子、お行儀のいい子、なんでも本氣になつて精出してする子、此等のことを毎日練りかへして話して聞かせ、實行の出来るように誘つて居

ります。それで、いゝことをした時には、「それでこそ富士見幼稚園の子ともである。いつでも、どこでも、其の通り出来る」と立派な良い子ともになれる」と言つて勵まします。若し又少しでも悪いことをした時には、「そんな事をする」と、富士見幼稚園の子ともになれませぬ」と言つて戒めます。斯ういふ様にして居ますと、一年二年と保育して居る間に、大に効果がある様であります。但し、此の朝のお話としても、そう固くるしいのでは勿論なく、富士見幼稚園といふ處から富士山の話も出ますし、立派な子ともといふ處から桃太郎さんや金太郎さんのお話も出ます。誰れでも自分のお仕事に精出してする人が一番立派な人といふ話から、お百姓さん、機を織る人、大工さん、屋根やさん、左官やさん、畳やさん、鍛冶やさん、漁師、船頭さん、兵隊さん、色々子どもの知つてゐるに任せて話をしてやります。又、「皆さんや先生は何といふ國の人でせうか」と

聞く、「日本の國の人と答へる。それで、日本國といふことを知らせ、又「日本のお國で一ばん大せつな方はどなたでせう」と問ひかけて、「天子さま」「皇后さま」と答へます處から、兩陛下のお話を致します。殊に三大節式日の前後に此のお話を致しますと、御眞影を拜する時にも、幼心にも氣をつけて居るやうに見うけられます。又式後にも、しばらくは覺えて居ります。

△體育と衛生

麹町區精華學校 幼稚園部 鈴木まささ

當幼稚園では體育を重する手段として、第一、つとめて日あたりのよい外の運動場で幼児を遊ばせます。もし日蔭で遊んで居るのを見ました時は、すぐ日なたへ連れて参ります。「保育の場所は屋根の下のみではない」と申すのが校長(寺田勇吉氏)の意見で御座いまして、手技をいたさせますにも、